

令和7年度第1回
大崎上島町総合教育会議会議録

令和8年3月16日（金）開会

大崎上島町教育委員会

令和7年度第1回大崎上島町総合教育会議出席者名簿

令和8年3月16日(月)14:00 開会
14:55 閉会

1 出席者	町長	谷川 正芳
	教育長	佐々木 智彦
	教育長職務代理者	出口 一伸
	委員	高田 康平
	委員	北山 博子
	委員	立田 敏明
	学校教育課長	山本 秀樹
	生涯学習課長	川本 亮之
	教育指導監	関藤 直子
	学校教育課長補佐	
	兼総務学校教育係長	神垣 憲隆

(傍聴者 3名)

令和7年度第1回大崎上島町総合教育会議 日程

開催日時：令和8年3月16日（月）
14：00～

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

協議 1 大崎上島町小学校規模適正化について

4 その他

5 閉 会

開会	学校教育課長	ただいまから令和7年度第1回大崎上島町総合教育会議を開催します。本会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定により、原則として公開となります。会議の開催にあたりまして、谷川町長からご挨拶があります。
議事	町長	本日は、令和7年度第1回大崎上島町総合教育会議にお集まりいただきましてありがとうございます。昨年の9月29日に第1回大崎上島町小学校規模適正化検討委員会が開催され、教育長から委員長へ提言を賜りたい旨諮問されたということでした。少子高齢化により児童数が減少していく中で、当検討委員会で具体的に進めていっていただきたいと思っております。本日はその後状況等お聞かせいただければと思いますのでよろしくお願ひします。
	学校教育課長	それでは、大崎上島町総合教育会議設置運営要綱第5条の規定によりまして、ここからは町長に議事の進行をお願いします。
	町長	はい、それでは要綱に従い進行を務めますので、ご協力をお願いいたします。次第の3協議1につきまして、事務局から説明をお願いします。
	学校教育課長	それでは協議1の大崎上島町小学校規模適正化についてですが、先ほど町長のあいさつの中でもありましたが、令和7年9月29日に第1回大崎上島町小学校規模適正化検討委員会を開催し、教育長から委員長へ「小学校の規模及び適正な配置に関する基本的な考え方」について提言を賜りたい旨の諮問を行い、検討委員会委員の皆様により小学校規模適正化についての意見交換が行われました。総合教育会議においても、小学校規模適正化についての意見交換をしていただきたく、資料として、小学校児童数の推移及び小学校勤務の教職員へのアンケート結果をご提示いたしますので、ご確認いただき、その後意見交換していただければと思います。本日資料をお配りいたしましたので確認時間を取りたいと思いますが、確認時間は10分程度でよろしいでしょうか。
	全委員	<異議なし>
	学校教育課長	それでは確認をお願いします。
	学校教育課長	～ 10分後 ～
	町長	10分たちました。進行をお願いします。
	町長	それでは委員の皆様、小学校規模適正化に関し、ご意見などいかがでしょうか。
	出口委員	12月議会を傍聴させていただいたんですが、一般質問の中で、「9月に小学校規模適正化検討委員会が開催された後、何の連絡等ないですが、次回はいつ開催されるんですか。」ということと、「第1回の検討委員会では町民や保護者や教職員の意見があまり反映されていないようなので、多くの人の意見を吸い上げて第2回へつなげてはいかがですか。」という発言があり、教育長からは「第2回までに多くの方の意見を吸い上げるため期間を取っているの、遅れています。」というような内容の発言をされています。すると議員さんから「第1回目委員会委員のみなさんに多くの意見を吸い上げていただくようお願いされたんですか。」と質問され、教育長は「これからします。」とお答えになられています。町民、保護者、教職員の意見を吸い上げていくということでしたが、今ここに掲示された資料には教職員のアンケートはあります。しかし町民や保護者の意見などもここにまだ出てきておりません。12月の議会から3か月経っておりますが、実施されたのかどうか。また、今回掲示された教職員のアンケートについて、我々委員にどのような意見を求められているのか。そのあたりお答えいただけますか。
	教育長	第1回の検討委員会では統合を進めていこうという旨の意見はあまり出ませんでした。一般質問では、保護者や町民の意見があまり反映されていない旨の発言をされまして、意見を吸い上げる旨の回答をしましたが、今同じことを聞いても同じような回答になるのではないかと考えていま

議事	教育長	す。また新たな資料等を出さない限り保護者から同じような意見になると思っています。それで、まずは教職員の意見をアンケートという形で行って今回資料として提示させていただきました。それと、令和7年度に出生した子どもの人数も新たに提示させていただいています。ですから、一般質問で保護者や町民の意見が反映されていないと発言されましたが、私はそうは思いません。
	出口委員	じゃあ12月の議会でそのようにお答えになればよかったですよね。たしかに統合を前提として話ではありませんという旨の発言もありましたが、第1回の検討委員会で統合に向けてという話は出ませんでしたという発言もありませんでしたので、議員さんからはもっと多くの町民、保護者、教職員の意見を吸い上げてはどうかという発言をされたんだと思います。ですから12月議会で、意見を吸い上げるようことはやっても意味がありませんという旨の回答をされていればよかったですかね。議員さんから質問に対して「これからやります。」と回答されていますよね。次に同じような質問されたときに「あれは意味がないからやってみません。」とは回答できないと思うんですよね。やりますって言った以上は、
	教育長	ですから今回教職員の意見を聞いたんです。町民、保護者全員の意見を聴取するとは言いましたが、新たな局面に入った場合です。何も前進もしていないのにやるつもりはありません。そこは見解が違うと思います。町民、保護者すべてに意見を聞くとは言ってません。議員さんからは、検討委員会の意味がない、保護者の意見も公式な意見ではない旨の発言がありましたが、私は「あの検討委員会での発言は公式的な発言です。」とお答えしました。改めて言いますが、検討委員会での発言は統合に向けた意見は出なかったんです。それなのに、議員さんからは意見が反映されていないとおっしゃられたように思います。ただそのようにおっしゃられると検討委員会の意味がなくなるんですよ。何のために委員さんに集まってもらっているのかというと、町民や保護者の代表として集まってもらっているんですから。
	出口委員	12月議会で、「もっと多くの方の意見を吸い上げるために2回目がまだ開催されていないんです。」と回答されていますよね。
	教育長	なぜ、町民や保護者の代表である区長さんやPTA会長さんに集まってもらっているのかというと検討委員会の意味がなくなるんです。検討委員会を開催せず、初めから全町民や全保護者にアンケート取ってそれに従ってやればよいとなるんです。教職員についてはアンケートを取りました。なぜかという、検討委員会では校長から「我々は、どのような環境であろうとそれに応じた教育を提供します」旨の発言があったので、これでは教職員の本音が聞けない恐れがあると判断したからです。
	出口委員	元に帰りますが、議会で質問される議員は、多くの町民からの負託をされて発言されております。その議会の中で、「もう少し多くの町民や保護者の意見を聞いて第2回を開催してください。」という発言に対して、「第1回ではやっていないのでこれからやります。」と回答されています。
	教育長	だからこの総合教育会議も開催させてもらっています。この会議も多くの方の意見を聞く一つなんです。町民のみなさん集めて意見を聞くというのは次の段階なんです。
	出口委員	次の段階ではないと思います。
	教育長	でしたら初めから町民のみなさんを全員集めて会議を開催すればいいわけで、検討委員会もこの総合教育会議も必要なくなってしまいます。そうではなくて、我々がある程度の意見を集約してそれをお示しできる段階になって開催するのが全町民向けだと思っています。まずは検討委員会や総合教育会議で意見を聞いているんです。そのために委員のみなさんも代表になられているわけですから。ですからこの場で、「こういった意見の方がおられます。ああいった意見の方もおられます。」という話をしていただければと思います。

議事	出口委員	たしかに我々教育委員会議でお話するのも一つですし、町長から指名されて議会で承認されているので責任感もあります。ただ、多くの方の意見を我々が全て直接聞くというわけにはいかないのが、教育委員会として保護者にアンケートを行うとか、区長会議で話していただくとか、そういった具体的な方法があるのではないかと思います。
	教育長	それは検討委員会でそのような意見が出れば行っていきます。我々教育委員会でアンケートして中身をみて教育委員会で決めてしまうのであれば検討委員会の意味がなくなるんです。そうでなく、検討委員会の委員さんからアンケートも取った方が良くとなれば実施するべきと思っています。
	町長	教職員のアンケートを見ますと、学校経営充実のためにはどれくらいの児童数が適当かという問いに対し、15人～25人という回答が一番多いですね。ではその人数がわが町の小学校で充足されているのかという視点で私は見させていただきました。先ほどからお話の出ている検討委員会において、ありきの検討はやめましょう。要するに、統合ありきでもなく、存続ありきでもなく。何が子どもたちにとって一番良いのかをベースに考えていきましょう、というのが原点にあります。12月議会では、統合ありきで質問されたように私は思いました。そうではなく、何を基準にしていくかを考えるときに、今回の教職員アンケートの結果というものが一つの基軸になるのではないかと思います。これらを基に専門家の方々が議論していくというのがいいのではないかと思います。今日はこれらの資料を見ていただいて限られた時間ではありますが、ご意見をいただくというのでいかがでしょうか。
	出口委員	わかりました。本日この場でお話させていただいた内容が、次回の検討委員会でも出されるんですね。次回はいつ頃の開催を予定されていますか。
	教育長	まだ決めてはいませんけど、早々には実施したいと考えております。今回の議事を検討委員会で出すかどうかは今後検討します。
	出口委員	今年度内に開催するんですか。
	教育長	いえ年度内の開催はできません。
	出口委員	12月議会の際に、年度内に開催するとお答えになれてましたよね。
	学校教育課長	年度内に開催したいとは答えましたが、必ず開催するとは言ってません。
	出口委員	次回の検討委員会開催は年度内には無理ですね。町議会で教育委員会が発言したことについては、全町の教育の信頼に関わることなんですよ。今おっしゃられたこと理解はできますが、質問された議員さんからすると非常に不満であると思われれます。議会での回答に対して全く満たしていないのではないかと考えられると思います。
	教育長	出口委員として、適正化についての意見はどうですか。
	出口委員	今私は適正化についての意見を言っているのではなく、議会でお答えになったように「やります。」といった内容をやられて、その内容をこの場に出していただきたかったということです。
	教育長	教職員アンケートを行って一歩進めてます。大変なんですよ、アンケートを取ることも自体も。
	出口委員	教職員にアンケートを行うことが大変なのは、みなさん以上によくわかっています。
	教育長	分かっておられるんですからそのあたりも理解していただいて、出口委員が適正化に対してどのような意見をもっておられるのかお伺いしたいと思っています。
	出口委員	簡単に言えば、もう少し迅速に進めていただきたい。
	教育長	それは会議の持ち方の話であって、適正化に対しての意見とは違うじゃないですか。
	出口委員	いえ同じです。
	教育長	じゃあ率直に小学校は統合した方がよいと思われれますか。それともまだしない方がよいと思われれますか。
	出口委員	諮問した検討委員会には、いつまでに答申をいただくというものを設定し

議事	<p>出口委員</p> <p>教育長</p> <p>出口委員 町長</p> <p>北山委員</p> <p>高田委員</p> <p>立田委員</p> <p>出口委員</p>	<p>てあげないと、いつまでもずるずる伸びてしまいますよ。そういった危機感というものも持っておられないと感じます。</p> <p>教育委員会に危機感がないと感じておられるんですね。危機感がないというのもですね、保護者からもそういったものが感じられないからですよ。保護者も何か感じるものがあれば教育委員会に何か声が上がってくるはずですけど。保護者からも地域からも私のところにはそのような声は届いていません。検討委員会でも統合についての話も出ませんでした。</p> <p>おかしいですね。</p> <p>危機感を持つというのも、児童数がここまで減ったからというようなご意見をお伺いして出てくるのではないかと思いますので、今のご意見を承った上で、本日の資料を見て率直な意見をお伺いして、また一歩進めていきたいと思っております。</p> <p>教職員アンケートの中で、「学年人数が2人以下になるのは避けるべき、3人以上いれば組み合わせが複数通り考えられるから」という意見があるんですが、木江小の複式学級では2つの学年がそれぞれ子どもが司会進行をして、その間を先生が行き来してやってたんですけど、子どもが主体的に学習に入っていましたね。2人だと1人が司会をすると1人しか聞く子どもがいなくなるですよ。私もそういった点では難しいなと感じますよね。</p> <p>児童数の推移を見てみると1学年2人というのが令和11年度あたりから出てきてますよね。現状、本町の学力テストは県内トップクラスですよ。複式学級が多いにも関わらず、子どもたちは非常に主体的に学べているし、学力が定着していて、少人数教育の良さが活かされているのではないですかね。だから保護者からも統合に向けた意見が出てきていないのではないですかね。むしろ複式学級が主体的な授業づくりができる子どもたちを育てる良い環境なのではないかと思います。</p> <p>教職員からの意見として、15人から25人が適当とありますが、課題とされているのが体育などある程度の人数がいないと成り立たない授業があるというところで、令和10年度の1年生は町全体で20人くらいなのでこれはサッカーなどは成り立たない人数になっていますね。ただ学習的には、AIなどを活用して多様性はカバーできるのかなと思いますけど、やはり1学年5人以下くらいになると保護者としてかわいそうとか、少なすぎるというイメージになりやすいのかなと感じます。統合を考えるのであれば、1学年20人を切るくらいからなのかなと思いますけどね。一方で学校が1つではなく、2つ以上の学校から選べるというの必要なのかなとも思います。</p> <p>児童数の推移をみると、非常に危機感を感じます。教職員アンケートをみても理想をいけば20人を超えるクラス編成ができれば一番いいんですけど、今の児童数をみると非常に厳しいなと率直に感じます。しかし、今年度から教育委員として各小学校見せていただいて、複式学級の授業を見せていただいても、子どもたちは一生懸命取り組んでいました。ただ人数が多ければ良いというものでもなく、子どもたちがいかに学びの場に向かっているかが大事なんだと改めて実感しました。そういった中で我々がガイドラインを示していくというのは非常に難しいことでもありますから、地域の方や保護者の方や教職員の意見を伺いながら総合的な判断をしないとイケませんし、本町の小学校の一番良いあるべき姿というものをこの場でこうですよって示すのは難しいと感じています。</p> <p>児童数推移を見てみると、令和10年度には東野小学校の方が木江小学校より少なくなるんですよ。東野小学校はその後もどんどん減り続け、木江小学校は現状維持に近い数字で推移していますね。ただ令和11年度には2つの小学校で完全複式学級になるんですよ。大崎小学校についてもいずれは複式学級になるかもしれません。町内3つの小学校全てに複式学級があるという状況になる前には、いろいろな方の意見を吸い上げて令和10年度くらいまでには、島の小学校がどうなっていくべきか結論を出し</p>
----	---	---

議事	<p>出口委員</p> <p>教育長</p> <p>出口委員</p> <p>教育長</p> <p>出口委員</p> <p>町長</p>	<p>ていかないといけないのではないかと思います。人数だけではなく、統合した場合の学校の在り方とか、統合しない場合はどのように子どもを教育していくのか、教職員数はどうなるのかとか考えることはたくさんあると思うので、もっと多くの意見を吸い上げて、できれば令和10年度くらいまでには適正な配置について検討委員会には答申をいただきたいと思いません。</p> <p>今令和10年度という具体的なお話でましたけど、そう思われる決定的なものはありませんかね。</p> <p>令和10年度には東野小学校と木江小学校の児童数が逆転するんですよね。そうなる、今は木江小学校児童の保護者が統合されて学校がなくなるのではないという不安があると思いますが、児童数が逆転したときには、今度は東野小学校の児童保護者が同じように思われるのではないかと思います。また令和11年度からは東野小学校と木江小学校で完全複式学級となり、大崎小学校もこのまま児童数の減少が続けば複式学級になることも十分に考えられるわけなんです。そうなったときに3つの小学校をそのまま残していくのかどうかを検討していく必要があるのではないかと思います。</p> <p>段階的に統合するっというのは得策ではないと思っています。なぜかと言いますと、3点セットとも言われます校名・校歌・校旗を決める必要が出てくるというのと、やはり吸収よりも統合というかたちがよいと思いますので。それと、場所についての問題もあります。みなさん児童数が多いところに統合されると思いがちですが、そうなるとも限りませんし。教職員の数については、私の中ではある程度読んでいます。他にも通学手段の問題もあります。しかしわが町については、幸い島内ほぼ20分程度で移動可能ですので、あまり問題にはならないかもしれません。中山間地域のように通学に1時間以上かかるようなことだと大きな問題となりますけど。</p> <p>町長さんにお伺いしたいんですが、東野地区は今後どんどん減少していく傾向にあるんですが、これは何か理由があるんですかね。</p> <p>逆に木江地区の児童数があまり減少していかないのかという理由をお話させていただきたいと思えます。沖浦地区から明石地区の農道沿いにかけては、現在Iターン移住者が増えており、ニュータウンと呼ばれています。若い方がお子さん連れで移住されるということが多いようです。人口減少を集落単位で見ますと、木江地区は全集落で同じように減少していく予想に対し、東野地区は集落によってはほぼゼロになるような極端な減少予想となっているんですね。高齢の方が多い集落だと一気に減少していき、若い方が多い集落は減少が緩やかになる予想になっています。そういった人口動態という意味では、木江地区は減少が緩やかになっています。私の出身の盛谷地区でも、子ども会が消滅しているんですね。若い方がほんとに少ないんです。それから一つ付け加えさせていただくと、第3次長期総合計画で2050年まで人口4,500人を維持するような計画を策定しています。今のままでいくと、4,000人を切るような予想となっています。現在「まちかど町長室」として、各地区を回らせていただいておりますが、その中で大きなコミュニティのところ、小さなコミュニティのところありますが、全てでこれからの5年間で最低でも1組の子育て世代の受け入れを目指しましょう、また50代60代の夫婦世代の方も、この島で安心して生活できる医療福祉を充実させて受け入れを目指しましょう、という話をさせていただいております。そうすれば人口4,500人を維持するという目標が達成できる計画となっています。今木江地区でそういった流れができていますので、これが東野地区でも起きてくればと思っています。大崎地区においても住みやすいと声が聞かれますので、さらに増える可能性もあります。また、学びの島ということで、現在海星高校の入寮希望者が、1学年定員10名のところ30名以上ありますので、そういった意味でも義務教</p>
----	---	--

<p>議事</p>	<p>町長</p> <p>出口委員</p>	<p>育だけでなく高校教育も含めて教育が充実していってます。あとは仕事があればということで、職業紹介として、脱炭素の関係で新しい仕組づくりも考えています。また情報系の企業誘致として、下組地区に10人規模の企業が入ってくれています。情報系はリモートで仕事できますので、こちらに住んでいただいて、さらに商船のDXも活用したいという狙いもあり立地されています。これら今動いてる施策の状況を今後3～4年様子を見てみたいと思っています。</p> <p>東野小学校と木江小学校は複式学級ですが、これが今後単式学級になるようにどんどん人口が増えていくということではないですよ。そういった意味でももっと危機感を持っていただきたいと思います。3つの学校が複式学級になってから考えるのでは遅いと思いますので、この島に育つ子どもたちがどうすれば一番よい教育ができるのかを最優先に考えていただいて、令和11年度くらいまでにはある程度の形を決めていただきたいと思っています。</p>
<p>その他 閉会</p>	<p>町長 全委員</p> <p>町長 全委員</p> <p>町長</p>	<p>その他よろしいですか。</p> <p><なし></p> <p>それでは続いてその他ですが、何かあればお願いします。</p> <p><なし></p> <p>それでは以上で総合教育会議の議事は終了させていただきます。 本日はありがとうございました。</p>